

浜の宮カップ 2023 大会レポート



9/23から9/24の2日間、和歌山県浜の宮ビーチにて浜の宮カップ2023が開催されました。フォイルの導入により誕生した新時代のスラローム競技「ミックススラローム」の国内初のサーキットとして注目を集める大会となりました。

大会初日

定刻通り開会式並びにスキッパーズミーティングが行われました。沖合では既に北東の風が吹き始めており、プロクラスの第1レースがスタートしました。風速は9～16ノットで非常にガスティな中で道具の選択が非常にシビアになるコンディションとなりました。セイルサイズは男子が9.0~7.5、女子が8.0~6.7を使用していました。セイルサイズ以上にフロントウイングの選択による差が大きく、強いブローが入る中では小さめのフロントウイングを使用した選手が強く、ブローホールができる大きいフロントウイングを抑え込んで走った選手が上位になるなど、ガスティな中でも成立できるフォイルレースならではの展開が多く見られました。



プロウィメンズクラス第1レース
IQフォイル女子が躍動！
トップに須長選手（470）、2番手に山辺選手（31）



プロメンズクラス第1レース
第2レグで風が乱れる中、富澤慎選手がトップを独走



プロウィメンズクラス第2レース
須長選手（470）、山辺選手（31）が連続でワンツーフィニッシュ



プロメンズクラス第2レース
風速が上がり、小さいフロントウイングを使用した穴見知典プロ（60）とシンガポールから参戦のLo Jun Hao選手（66）がスピード勝負で順位を上げました。
トップは穴見プロ、2位に富澤選手となりました。

プロクラス第2レース終了後オープンクラスを2レース、プロウィメンズクラスを1レース行いました。また、プロメンズクラスは2レースで終了となりました。



オープンクラスでも独走。富澤慎選手（11）
今季ツアーデビューし、オープンクラス2位の梶山勇人選手（9111）



オープンウィメンズクラス優勝
石井有夏選手（774）

ガスティで不安定な風の中、大会初日はプロメンズクラスとオープンクラスが2レース、プロウィメンズクラスが3レース成立しました。

以下大会初日のリザルトです。

<https://jw-a.org/wp-content/uploads/2023/09/2023sl1hamanomiya-result.pdf>

大会二日目

朝の北東風でレースが成立する可能性がありましたが、安定せずそのまま14:30頃にリリースとなりました。よって初日のリザルトが最終成績となります。

各レースのドローン映像が以下からご覧いただけます。

プロクラス第1レース

<https://youtu.be/S1pphu73pSg?si=kglJRz295HvH9QDP>

プロクラス第2レース

<https://youtu.be/ydznz8GupqXQ?si=951pMQ3gQKmcRp4t>

オープンクラス・プロウィメンズクラス第3レース

<https://youtu.be/tQjO4klPxuM?si=0-NtGK0mKRyuX7Fp>

2日間のダイジェスト

<https://youtu.be/QS4JlprLaiM>

各クラス入賞者



オープンメンズクラス

2位・梶山勇人 優勝・富澤慎 3位 長谷川裕志



プロウィメンズクラス

2位・穴山未生 優勝・須長由季 3位山辺美希



プロメンズクラス

2位・穴見知典 優勝・富澤慎 3位・田島航

総括

最後に、今回浜の宮カップ2023を開催するにあたり、地元浜の宮のショップ様、協力を頂いた和歌山セーリングセンター様、そして大会に参加して下さった選手の皆様、この場を借りて御礼申し上げます。ミックスという新体制の初戦としては大いなる盛り上がりを見せた中で、トラブルなく終わることができ嬉しく思います。今後もプロツアーの開催地として浜の宮海岸のウインドサーフィンを盛り上げていければと考えており、引き続きスラローム委員並びにプロ選手一同、尽力してまいりますのでご支援よろしくお願い致します。

JWAスラローム委員 JPN-16 金上颯大